

\*\*\*\*\*

## メルマガ全部協プライムニュース

2017 年 12 月号

<http://zenbukyo.or.jp>

\*\*\*\*\*

このメールは、組合員、賛助会員、及び旧「全部協プライムニュース」の配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

\*\*\*\*\*

### CONTENTS

※メルマガの配信容量を抑えるために、添付資料(付録など)を、一部を除き、記事の中に記載の URL からダウンロードにより配信しています。お手数をおかけしますが、記事中に記載されている URL からダウンロードしてご確認ください。

- 1, 「メルマガ全部協プライムニュース」とは
- 2, 「オートモーティブプライムニュース」とは
- 3, 全部協活動報告
  - 1) 第 21 回編集委員会
  - 2) 経営組織専門チーム委員会
  - 3) 第 21 回事業運営委員会
  - 4) 第 18 回経営組織委員会
- 4, 支部・ブロック協議会活動報告  
福部商実務者研修会開催
- 5, 統計情報
  - 自動車販売統計
  - 整備工場統計
- 6, 事務局からのお知らせ
  - 1) ETC2.0 セットアップ事業者申請
  - 2) 「ZEN-bukyoTool モール」サイト利用登録状況
  - 3) 組合員企業の異動状況
  - 4) あっせん販売商品の紹介
  - 5) 「ZEN-bukyo モール」掲載商品
  - 6) 「ZEN-bukyo モール」の“お知らせ”から

7, 全部協議・活動日程

8, メルマガ配信アドレス登録お願い

9, 付録

- 1)「ZEN-bukyoTool モール」開設のご案内(チラシ)
- 2)「ZEN-bukyo モール」サイト案内 PDF
- 3)「ZEN-bukyoTool モール」専用カタログ
- 4)「ZEN-bukyoTool モール」サイト案内 PDF
- 5)「ZEN-bukyoTool モール」利用の Q&A PDF
- 6)デッドストック部品運用ガイドライン
- 7)【ビジネスレポート】 PDF
- 8)リパーツダイレクトの広告
- 9)PB 商品の広告
- 10)その他の広告リンク  
・ショーワグローブ株式会社

1 | 「メルマガ全部協プライムニュース」とは

---

イ、全部協<内部情報専門>の「メールマガジン」です。

ロ、理事会や委員会、組合の各種事業活動及び組合員への連絡事項を  
発信します。

ハ、<毎月>、組合員、賛助会員及び所管官公庁、協力企業に配信します。

2 | 「オートモーティブプライムニュース」とは

---

イ、部品商の<顧客向けの情報誌>です。

ロ、<奇数月発行>のタブロイド版の「紙面情報誌」です。

ハ、補修部品情報はもちろん、卸問屋企業や部品メーカーからの情報、  
自動車業界動向、各種技術情報、全部協の諸活動、等々を発信して  
参ります。

ニ、<希望を募り「無料」で>組合員・賛助会員へ配送します。

ホ、組合員の営業ツールにすることを目的にしています。

3 | 全部協活動報告

---

## 1) 第 21 回編集委員会

全部協は、第 21 回編集委員会を 11 月 28 日(火)10 時から、全部協会議室(東京・上野)で開催しました。

主な議題は、以下のとおり。

- (1) 機関誌「オートモーティブプライムニュース」内容見直しについて
- (2) 11 号(1 月号)紙面割りにについて
- (3) 11 号(1 月号)名刺広告について
- (4) 機関誌の認知向上策
- (5) メールマガジンの新コンテンツについて
- (6) その他

### 1, 機関誌「オートモーティブプライムニュース」内容見直しについて

#### 1) 機関誌の購読状況と活用方法に関するヒアリング結果

組合員および周辺の整備工場、钣金工場らを対象に行ったヒアリング調査の結果、機関誌が組合員や整備工場の間であまり読まれておらず、販促活動等への活用も十分に行われていない現状が発行委託先の編集委員から報告されました。

また部品商や整備工場等の声として、新車の技術情報や電気自動車の普及といった自動車業界全体の動向よりは、カーアフターマーケットに関連した身近な話題や販促活動に役立つ実用性の高い情報への要望が高いこともわかりました。

この点について、編集委員からも補修部品業界や整備業界に直結した話題を中心とした紙面にすべきとの指摘がありました。

今後も機関誌制作を継続するには、テーマやコンセプトを絞り込み「部品商の業界団体が制作する情報誌」としての独自性を打ち出すことで、広く読まれる媒体としていくことが不可欠となります。何より整備工場等へ機関誌を届ける立場である組合員＝部品商が興味深く読むことができる紙面へと移行することが必要ではないかという意見があがり、機関誌の内容を見直し、次号 11 号(2018 年 1 月号)から徐々に刷新を図ることにしました。

#### 2) 11 号(1 月号)からの改善点

各補修部品の特長や部品メーカーの取り組みといった、部品商や整備業者にとって身近で関心の高い内容の記事を増やすことにいたします。

そして、より読者ニーズに即した内容とするため、組合員だけでなく賛助会員をはじめとした関連企業からも広く情報収集を行います。

また、読者が自分に関心のある記事を探しやすいよう、1 面に簡単な目次を掲載することになりました。

## 2. 11号(1月号)紙面割りについて

1)1面トップ記事は未定。画像などを印象的に使用した目を引く内容の記事にします。

2)新年企画として年頭所感、名刺広告を掲載します。年頭所感は全部協の理事長のほか、日本自動車部品協会理事長、日本自動車会議所会長、日本自動車整備振興会連合会会長のものを掲載予定します。

3)その他の記事として、ジャンブル愛知の開催予告、整備工場向けトレーニングセンター「e-Garage」開設、ドライブレコーダー売上増の動き、全日本自動車整備技能競技大会レポート、外資系保険会社がテュフ認証を取引工場の選定基準に採用する動きなどの話題を取り上げる予定です。

9号、10号に掲載した群馬自動車大学校に関する記事は次回が最終回になります。広告については、日本特殊陶業の1面広告を引き続き掲載します。

## 3. 11号(1月号)名刺広告について

11号に掲載する名刺広告について協議しました。これまでの名刺広告は日刊自動車新聞など他の業界紙と比較するとかなり高額であることと、新たに設定した小サイズ広告は社名のみで代表者名や住所が入らないため出稿のメリットが低いこと等をあげ、改めることにしました。より多くの出稿を募るため価格その他を見直し、名刺広告については業界の標準価格に合わせることにしました。また広告サイズについても見直しを行います。

## 4. 機関誌の認知向上策

機関誌の認知向上策の一環として、できるだけ多くの業界関係者の目に触れる機会を増やすため、港区・芝の自動車会館内「くるまプラザ」の団体機関誌閲覧棚に置いてもらうよう日本自動車会議所に依頼しました。同様に虎ノ門の東京都自動車部品組合事務局にも機関誌を置いてもらうことにしました。

## 5. メールマガジンの新コンテンツについて

一部の賛助会員から、組合員等の代表者変更や訃報などの情報を提供してほしいという要望が寄せられています。これに対応し、次回から組合員等の移動情報を掲載する項を新たに設けることにしました。

## 6. その他

配送費の負担軽減を目的として、10号から発注数50部以下の配送先には事務局から直接発送するなど発送部数の見直しを行っています。この結果、

経費削減につながったことが報告されました。また、機関誌の今後の方向性について話し合うため、来年春をめどに発行委託先との懇談を行う意向が伝えられました。

---

## 2) 経営組織専門チーム委員会

全部協は、第2回経営組織専門チーム委員会を11月30日(木)10時から、全部協会議室(東京・上野)で開催しました。

主な議題は、以下のとおり。

- (1) 全部協の財政基盤について組合員への説明の仕方
- (2) 1月の理事会に諮る
- (3) 年明けの各地での会合の機会に説明
- (4) 説明資料の削除項目と資料の作り方の参考資料提示

### 1. 全部協の財政基盤について組合員への説明の仕方

第33回定例理事会(10月20日開催)において、「全部協財政基盤の改善策」について提案議論しました。しかし、組合員への説明には分かりやすくかみ砕いた資料が必要との意見が出され、専門委員会に持ち帰り今回の会議となりました。

#### 1) レジメを作る

事務局でまとめた資料には詳しく全部協が設立に至った背景と理由やこれまでの実績が記載されています。しかし、多くの組合員にそこまで読みこなすことは期待できないとして、組合員の理解をより良く促すために、要点をレジメとして取りまとめ、詳しい事は資料に記載しているとして誘導することにしました。

#### 2) 全部協が事業協同組合であるメリットを分かりやすく列記する

公益社団から事業協同組合に換わっていることが組合員へほとんど理解されていません。なぜ事業協同組合に改組したのかを説明する方法として、事業協同組合であるメリットと一般社団、ないし、任意団体にはできないことについて比較列記することにしました。それにより、事業協同組合として組合員全体の利益を確保するために活動していることを訴えることができます。また、賦課金を値上げするに足るものかどうかを組合員自身で判断してもらうことが可能になります。

#### 3) 組合員の負担増を3年と期限(時限立法)を設けていることに

ついて

賦課金値上げによる組合員の負担増が期限付きですが、その後の姿が不確かなものに映っています。

- (1) 現状の組合員数を維持できるか
- (2) 事業収益がもくろみどおり伸びるか
- (3) 経産省とのつながりを活かす人事と事務局体制を作れるか
- (4) できたとしてもその期待に応える人材を迎えることができるか

これら不確定な要素に対応していくために、計画が思惑どおり実現できない場合でも全部協が事業協同組合として運営できる新たな施策を立案し続けること、そしてそれを実行していく強い意志と覚悟が、全部協の執行部と理事役員に求められることとなります。

#### 4) 経費削減策を具体的に提案する

組合員へ負担増を求めるだけで無く、運営経費の削減策を具体的に示し実行していくことが組合員の理解を得るために必要となります。その一つとして会議経費の削減が挙げられます。

イ、委員会経費を減らす

ロ、理事会経費を減らす

これらは、テレビ会議や WEB 会議(インターネット回線を利用した会議形式)システムを利用することで、削減可能になります。一部実施済ですが、多人数会議への対応可能性と実現性を経費の面から調べることになりました。

しかし、これらを採用することで、全部協組織としての機能強化に結びつくことでなければなりません。

#### 5) 平成 30 年度から実施する方針は変えない

先の理事会(33 回定例理事会)で、平成 30 年度 7 月から「賦課金」の値上げと「WEB 共通互換品番システム」利用料の値上げを実施する方針は決められました。これを前提に説明資料とりまとめの作業を進めることとなります。

## 2. 1 月の理事会に諮る

次回(12 月 7 日)開催の経営組織委員会までに、説明資料を取りまとめて意見を集約し成案を得る予定です。それを次回理事会(1 月 26 日開催 第 34 回定例理事会)に諮り、審議していただきます。

### 3. 年明けの各地での会合の機会に説明

期限が限られている中でも、できるだけ地方での会議(組合の総会など)に理事役員及び事務局が出席し、全部協の財政事情について説明する機会を設けることになりました。年明けに各地域の組合で会合がもたれる予定です。その機会を利用して説明を行います(ないしは説明会を開催します)。

### 4. 説明資料の削除項目と資料の作り方の参考資料提示

事務局でまとめた資料について削除項目を確認しました。また、説明用資料作成の参考に、過去(全部協設立時)に作った資料を事務局から照会しました。

- 1) 事業協同組合の概要(制作:全部連)
- 2) 全部連は事業協同組合になってこう変わります(制作:同上)
- 3) 全部連勤未来ビジョン;図解事業協組合早わかり

---

### 3) 第 21 回事業運営委員会

全部協は第 21 回事業運営委員会・情報専門部会を  
平成 29 年 12 月 6 日(水)11 時 00 分から、全部協(東京上野)で開催しました。

議題は、以下の通りです。

- (1) ETC2.0 セットアップ事業者登録について
- (2) 通販事業者との覚書取り交わし
- (3) 「ZEN-bukyoTool モール」利用申込み状況
- (4) 全部協ホームページ 刷新の進捗状況報告
- (5) 「ZEN-bukyo モール」について
- (6) WEB会議方式について
- (7) その他

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームでご確認ください。

#### 1. ETC2.0 セットアップ事業者登録について

##### 1) ITS サービス高度化機構との会談結果報告

ETC2.0 セットアップ事業者登録申請に関わる、11 月 29 日の ITS サービス高度化機構との会談結果を事務局から報告しました。

- ・概ね届出書類の作成方法について了解が得られました
- ・スケジュールの確認を行い、12 月 15 日(金)までに、登録申請書を提出することを、全部協から申し入れました

- ・その後、ITS サービス高度化機構にて書類の最終審査と補正が行われ、19日に受理される予定です
- ・ITS サービス高度化機構での審査会議は1月10日(水)に開催され、そこで、全部協の事業者登録が認可されることとなります
- ・認可後にITS サービス高度化機構と全部協で契約書を取り交わし、保証金等をITS サービス高度化機構に振り込む手続きを行います
- ・セットアップ業務統括責任者講習会が1月19日午後13時半～16時半に行われるので、統括責任(予定)者は全員受講します

## 2) セットアップ店募集に関わる登録費用などについて取り決め

事業者登録時及び事業者登録認可後にセットアップ店を募集することになりますが、その登録費用等について確認しました。

## 3) セットアップ店でのセットアップ料金について

セットアップ店でETCとETC2.0のセットアップを行う場合の、セットアップ料金について確認しました。

## 2. 通販事業者との覚書取り交わし

「ZEN-bukyoTool モール」が11月から組合員へ照会・公開されています。これからの事務手続きに関連する事項を委託先の通販事業者と覚書として取り決め、取り交わしたことを事務局から報告しました。

## 3. ZEN-bukyoTool モール」利用申込み状況

事務局から、約1ヶ月間の「ZEN-bukyoTool モール」利用申し込み状況を報告しました。

### 1) 利用登録件数

- (1) 利用組合員 176社 全組合員の38.5%
- (2) 未利用組合員 281社 全組合員の61.5%

### 2) 注文商品価格帯

- (1) 1万円未満がほとんど 92%
- (2) 1万円～2万円未満 6%
- (3) 2万円以上 2%

### 3) 1オーダー当たりの注文金額

- (1) 全オーダー数 132回
- (2) 1万円未満のオーダー 103件(78%)
- (3) 1万円～2万円未満のオーダー 26件(20%)
- (4) 2万円以上のオーダー 3件(2%)

### 4) カタログ冊子配布状況



- (1) 配布部数 13,522 部
- (2) 同 最大売上高 4,181 円/冊(同上、冊数が少ないところ)
- (3) 同 最小売上高 9 円/冊(同上、冊数が多いところ、  
ただし注文が無い所は除く)

#### 5) 新商品紹介のチラシ配布について

通販事業者から組合員向けの新商品を含めたチラシ配布の要望があります。

この配布方法について事務局から確認しました。

- (1) 利用申し込みをいただいている拠点毎に  
冊子版カタログ申し込み部数と同じ部数を配布します
- (2) 利用申し込みの無い組合員へは、10 部ずつ配布します

#### 4. 全部協ホームページ 刷新の進捗状況報告

全部協ホームページ刷新作業状況を報告しました。

- 1) ホームページ制作会社と制作ソフトの検討をしています
- 2) ホームページ制作会社との打ち合わせ内容は以下のとおり

##### (1) コンテンツの検討

- ・コンテンツ整理・見直しをおこなっています
- ・ホームページへのアクセス解析を検討します

##### (2) トップページデザインの検討

- ・デザインレイアウトの検討をしています
- ・イメージカラーは全部協ロゴへの調和を前提にする予定です
- ・画像・イメージは全部協および部品商の自動車業界における役割が伝わるイラストなどを検討します
- ・素材のイラストや写真は著作権に配慮します

#### 5. 「ZEN-bukyo モール」について

##### 1) 携帯アプリ開発状況

情報専門部会で進めている携帯アプリの開発状況について、開発委託先との打ち合わせ事項などを担当委員から報告しました。

スマホ用アプリのデザインは決まっていますが、スマホへのインストール方法について細かい調整が必要です(略)。

##### 2) 掲載商品仕入れルート変更について

「ZEN-bukyo モール」に掲載している以下の掲載商品について販売方法や仕入れルートを変更する提案がなされ、以下確認しました。

#### (1) 作業用ゴム手袋製品

この商品は購入ロットの大きさが販売促進の障害になっています。  
「ZEN-bukyo モール」と「ZEN-bukyoTool モール」の両方に並行  
掲載することに換えることと同時に、「ZEN-bukyo モール」の  
仕入れルートと「ZEN-bukyoTool モール」の仕入れルートを  
別々にして、現状の仕入れ先から換えることにしました。新たな  
仕入れ先ルートはメーカーからの紹介企業になります。

#### (2) パッド、及び、ワイパーゴム製品

同様に販売の促進策として、パッド、ワイパーゴム製品について  
「ZEN-bukyoTool モール」での取り扱いの提案がなされましたが、  
「ZEN-bukyo モール」での取り扱いのみにすることを  
確認しました。

### 6. WEB会議方式について

経営組織専門チーム会議から、理事会や委員会での WEB 会議を採用して、  
会議費用(主に旅費交通費)を削減する提案がなされています。事務局から  
そのことを報告し、事業運営委員会(情報専門部会)での議論検討を  
お願いしました。

#### 1) WEB 会議方式

以下の二つの方式が主流として事務局から照会がありました。

##### (1) 「Live ON」システム

初期費用約 4 百万円、年間 72 万円費用発生(ただし、20 名会議で)

##### (2) 「Skype for Business」

初期費用約 90 万円、年間 15 万円費用発生(同上)

#### 2) 結論として

- (1) 多人数 WEB 会議での実際の利用状況が分からないので判断が難しい
- (2) 他での使用実態を聞くと、数カ所営業拠点などとの  
報告会議形式が多い
- (3) 委員会形式でのフリーな議論の場には不向きではないか
- (4) 決まった報告形式を採る会議で、あまり議論がなされない会議では  
採用できるかも知れない
- (5) 事業運営委員会(情報専門部会)としては、「採用に否定的」を  
結論とする

### 7. その他

#### 1) 経営組織専門委員会の報告

事務局から、11月30日に行われた経営組織専門委員会(専門チーム会議)の報告を行いました。この委員会は、全部協の財政事情改善策を組合員へ説明するために、その説明資料作成の仕方を議論するために開催されています。

議事録を基に議論の内容の説明があり、その議論を受けて、次回の経営組織委員会(12月7日開催)に諮る以下の組合員への説明資料について事務局から説明しました(詳細略)。

- (1)全部協が事業協同組合であることの組合員のメリット
- (2)全部協の運営を効果的に進める措置

## 2)脱退組合員

事務局から、現在まで受け付けている組合からの脱退と事業統合の申し入れ企業が報告されました  
(全部協活動報告「経営組織委員会」参照、略)。

## 3)総代当選者報告

事務局から第3回総代選挙実施結果の報告がなされました。本報告は、総代選挙管理委員会(井上忠俊委員長、共和自動車(株)、福岡県)から全部協理事長へ11月30日付けで報告されたものです(詳細略)。

## 4)福部商での実務者研修会報告

11月25日に開催された、福岡県自動車部品商組合実務者研修会の報告が、研修会講師で事業運営委員会情報専門部会の委員(2名)から行われました。研修会の模様をDVD録画と共に報告し、研修会が盛況であったことが報告されました。参加員数は、41名で、福岡県以外からの参加もありました。

## 5)大分県での研修会実施について

福岡県での研修会参加者企業から大分県で同様の研修会開催提案があり、全部協に研修会開催要請が大分県自動車部品商組合からあったことが、事務局から報告されました。

開催時期として、平成30年1月13日が計画されています。

## 6)リサイクル部品の販売取次店契約更新について

全部協は、リサイクル部品検索システムの販売取次店契約を交わしています。その5年間の有効期限が今度の1月で切れることから、更新の必要有無を事務局から確認しました。

事業運営委員会として、更新を求める意向を示すことと、契約条件について特に変更を求めないことを確認しました。

---

#### 4) 第 18 回経営組織委員会

全部協は第 18 回経営組織委員会を平成 29 年 12 月 7 日(木)11 時 00 分から、全部協(東京上野)で開催しました。

議題は、以下の通りです。

- (1) 組合加入脱退について
- (2) 経営組織専門チーム委員会の報告
- (3) 事業運営委員会の取組(事業委員長から報告)
- (4) その他

※詳しい議事内容は、ホームページの組合員ルームでご確認ください。

##### 1, 組合加入脱退について

事務局から以下が報告され次回理事会(1 月 26 日、金曜日)開催の第 34 回定例理事会)に諮ることになりました。

###### 1) 組合員同士による事業統合脱退

以下の組合員 2 社から事業統合の申し入れがあり、その一方の組合員は平成 29 年 12 月末日付けで脱退となります。

###### (1) 事業統合する組合員

- ・(株)塩尻自動車部品商会 長野県塩尻市 代表者 高砂澄夫 氏
- ・上高地自動車(株) 長野県松本市 代表者 前田祐一 氏

###### (2) この事業統合により存続会社

上高地自動車(株)を存続会社とし、(株)塩尻自動車部品商会は全部協から法定脱退となります。

###### (3) 出資持ち分の継承

(株)塩尻自動車部品商会の出資持ち分を、上高地自動車(株)にそのまま継承します。

###### 2) 組合からの脱退

以下の部品商から全部協から脱退の申込みがあったので、次回理事会(1 月 26 日開催の第 34 回定例理事会)に諮り承認をいただきます。

###### (1) 自由脱退 申し入れ期日 平成 29 年 11 月 9 日

(株)古田商店 福岡県北九州市

代表者 古野 章 氏 出資口数 1 口

脱退期日 平成 30 年 3 月 31 日

※自由脱退者は本年度末まで組合員としての権利と義務が継続します。

(2)法定脱退(廃業) 申し入れ期日 平成 29 年 11 月 30 日

日産商事(有) 福岡県久留米市

代表者 児玉 スギミ 氏 出資口数 1 口

脱退期日 平成 29 年 12 月 31 日

### 3)組合員数状況

平成 29 年 12 月末の組合員数は、現 459 社から法定脱退 2 社で、合計、457 社となります(内、自由脱退を 2 社含む)。

## 2. 経営組織専門委員会の報告

11 月 30 日に開催した第 3 回経営組織専門委員会の報告が事務局(専務理事)から議事録提出と共に行われました。

また、専門委員会での議論を基に作成された資料を読み上げ説明を行いました。

### <説明に用いた資料>

イ、事業協同組合の全部協は、

組合員の利益(メリット)をあげるための事業

ロ、組合員の事業活動を支援する

全部協の運営を効果的に実施するための措置

ハ、全部協の設立及び実施事業と今後の事業展開について

ニ、全日本自動車部品卸商協同組合の

財政収支状況(実績及び見込額)

説明資料について文言の修正が行われましたが、概ね論旨について了解されました。これを、次回理事会に諮り全組合員への説明資料として承認を得ることになります。

## 3. 事業運営委員会の取組(事業委員長から報告)

オブザーバー参加の事業運営委員長から、取組事案の報告がありました。事業運営委員会は当経営組織委員会の前日(12/6)に開催されています。報告があった項目は以下のとおり(詳細略)。

1)ETC2.0 セットアップ事業者登録

2)「ZEN-bukyoTool モール」開設

3)「ZEN-bukyo モール」更新開設

4)ホームページ刷新と改編・改訂

5)「WEB共通互換品番システム」利用状況

## 6)WEB会議方式について

説明の中で、事業運営委員会の各取組事案について委員会・役員・執行部等々の組合員企業の参加協力が無ければ、画餅に終わる危惧が表明されました。

WEB 会議方式については、事業運営委員会として、実用性を確認するための試験運用が必要との意見が出されました。また、この件に関して、経営組織委員会としては、費用対効果が高く見込まれることから、実施に移す方向で詳しく調査すべきとの意見が出されました。

## 4, その他

### 1)総代当選者報告

事務局から総代選挙結果と当選者の報告がありました。

### 2)基礎統計・取引実態調査 集計概報

10月～11月にかけて実施した基礎統計・取引実態調査の回収速報が事務局から報告されました。

回収率 62%(12月5日時点)=回答件数 284 件/457 組合員。

ダイジェスト版を 12月20日までにまとめる予定です。

### 3)委託通販会社との覚書取り交わし

事業運営委員会として、「ZEN-bukyo Tool モール」開設に伴い、委託通販会社と覚え書きを取り交わしたことを報告しました(事務局)。

### 4)機関誌発行継続と発行委託先との話し合いについて

事務局から以下を報告しました。

#### (1)発行部数

組合員 49,567(447 社)

賛助会員 382(37 社)

その他 47(45 箇所)、

計 49,996 部(内全部協からの送付部数 3,845 部)

#### (2)編集方針

編集委員会記録で整備工場の現場の課題を

取り上げる方向に変えて行く予定です。

#### (3)発行委託先との話し合い

機関誌発行継続について話し合いを持つことが必要になっています。

時期として年度末の3月を予定しています。

### 5)トヨタ自動車訪問とスズキ、本田技研工業との懇談会について

事務局から以下を報告しました

- (1)トヨタ自動車との懇談会 12月13日予定  
全部協出席者 理事長、副理事長(3名)、理事(1名)
- (2)本田技研工業との懇談会 1月18日予定  
全部協出席者 理事長、副理事長(4名)
- (3)スズキ(株)との懇談会は調整中

#### 6) マツダパーツとの話し合い

事務局から以下を報告しました。

話し合いの開催時期 1月24日(水)、於全部協

全部協出席者は、理事長、取引改善専門委員会(3名)の予定です。

取引基本契約書取り交わしについて話し合う予定です。

#### 7) リサイクル部品の販売取次店契約更新

事務局からリサイクル部品検索システムの販売取次店契約について、  
特に変更を求めず更新することを報告し、了承されました。

---

## 4 | 支部・ブロック協議会活動報告

---

### 1) 福部商実務者研修会開催

上記につきましては、以下の URL をクリックしてご覧ください。

[http://zenbukyo.or.jp/mailmagazine/201712/04\\_01\\_report.pdf](http://zenbukyo.or.jp/mailmagazine/201712/04_01_report.pdf)

---

## 5 | 統計情報

---

国交省統計 URL

認証・指定工場数及び新規・廃止状況(速報) ※10月末の情報

<http://www.mlit.go.jp/common/001212556.pdf>

優良認定工場数(速報) ※10月末の情報

[https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/jg/koujou\\_ichiran.pdf](https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/jg/koujou_ichiran.pdf)

自販連 URL

ブランド別新車販売台数概況 2017年11月

一般社団法人 全国軽自動車協会連合会

2017年11月軽四輪車新車販売速報

<http://www.zenkeijikyo.or.jp/statistics/4soku>

6 | 事務局からのお知らせ

---

## 1, ETC2.0 セットアップ事業者申請

9月12日のITSサービス高度化機構(ITS-TEA)での打合せにより、全部協としてETC2.0 セットアップ事業者登録受け付けることの確認が得られています。

11月29日にITS-TEAを訪問し、ETC セットアップ事業者申請の届出書類作成について確認してきました。

### 1)書類作成の仕方について

若干の修正はありましたが、概ね全部協の作成資料で受付できる確認をいただきました。

### 2)ITS-TEA への提出時期

全部協から12月15日(金)までに登録申請書を提出するスケジュールで了解をいただきました。

### 3)今後のスケジュール

(1)12月14日(木)までに、申請書類を整え12月15日(金)に、ITS-TEA に提出します

(2)資料の「最終審査と補正」を、ITS-TEA で行い、19日(火曜日)に受理していただきます(予定)

(3)ITS-TEA の審査会議は、翌月の1月10日(水)に行われ、そこで、正式に登録事業者として認められることとなります(予定)

(4)認可後に、事務的にITS-TEA と契約書の取り交わしと、全部協は保証金等の振り込み納入を行います

(5)1月末までにはセットアップ店にセットアップ機材が納入されることとなります(大凡の予定)



(6) セットアップ業務統括責任者の講習会が、

1月19日、火曜日、13時30分～16時30分にITS-TEAにて開催されます。それに全部協から4人のセットアップ業務統括責任(予定)者を受講させる予定です。

## 2. 「ZEN-bukyoTool モール」サイト利用登録状況

ZEN-bukyo Tool モール利用状況をまとめてみました

(2017年12月5日現在)。

### 1) Tool モール利用申込み件数

登録件数は176件で全組合員457社の半数以下に留まっています。既に同様なカタログ通販から仕入れている組合員は様子見というところでしょうか。

### 2) Tool モール注文件数

総注文数は132件(同組合員からの複数回の注文を含む)です。10月下旬から11月末までの約5週間の注文件数です。26件/週の注文数です。

### 3) 1回の注文あたりの金額(税抜)

1万円未満の注文金額が大多数を占めています(79%)。これらからもまだ様子見の状況がうかがえます。

(1) 2万円以上が3件

(2) 1万円台が26件

(3) 1万円未満が103件

### 4) カタログ冊子の配布状況

組合員の客先は、整備工場やガソリンスタンドなど合わせて大凡6万社以上あると考えられます。客先に1冊ずつ組合員が配布すると考え、現在の配布部数(13,522部)は、まだまだ少ない配布部数です。全部協事業運営委員会では組合員にさらに利用が広がることを期待しています。

## 3. 11月の組合員の異動状況

1) 組合員数に変更なし 457社(平成29年11月末日現在)

2) 脱退組合員 なし(11月)

3) 社長異動組合員 なし(11月)

## 4. あっせん販売商品の紹介

全部協(事業運営委員会)では、各種商品販売のあっせんを行っています。現在のあっせん販売商品をご紹介します。全て組合員ルームに掲載しています。

#### 1) 補修用ガラス

生駒商事(株)

(株)ビッグウェーブ

の自動車補修用ガラスを取り扱っています。

[http://zenbukyo.or.jp/member/joint\\_buy\\_h\\_glass.html](http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_h_glass.html)

#### 2) 輸入タイヤ

(株)ハンコックタイヤジャパン

(株)ビッグウェーブ(オートウェイループ)

の輸入タイヤを取り扱っています。

[http://zenbukyo.or.jp/member/joint\\_buy\\_i\\_Tire.html](http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_i_Tire.html)

#### 3) リサイクル部品

(株)ビッグウェーブ(リパーツダイレクトシステム)

(株)OSS司(リビルド製品)

を取り扱っています。

[http://zenbukyo.or.jp/member/joint\\_buy\\_recycle.html](http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_recycle.html)

#### 4) 車輻部品検索システム

(株)アペックス

の車両・部品検索システム「アテナ(ATNA)」を取り扱っています。

1) Windows パソコン用「アテナ(ATNA)」

2) タブレット端末用「アテナ(ATNA)」 Android 版、iOS 版

[http://zenbukyo.or.jp/member/joint\\_buy\\_atna.html](http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_atna.html)

#### 5) 高品位尿素水

有限会社マイコーポレーションの AdBlue (R) (高品位尿素水)

を取り扱っています。

[http://zenbukyo.or.jp/member/joint\\_buy\\_adblue.html](http://zenbukyo.or.jp/member/joint_buy_adblue.html)

#### 5. 「ZEN-bukyo モール」サイト掲載商品

全部協の「ZEN-bukyo モール」サイトには以下の商品を掲載しています。

サイトの URL=<http://zenbk.com/>、から「ZEN-bukyoTool モール」

マニュアル改訂版(事業運営委員会作成)と「Let's get started!」

vol.13 (2013.11.27)も合わせて参照ください

(「運営者からのお知らせ」にあります)。

(1)e-分岐タップ (2)間仕切り透明カーテン (3)バンパー

(4)フェンダー (5)ボンネット (6)ヘッドランプ

(7)クリアランスランプ (8)サイドマーカーランプ

- (9)テールランプ (10)知恵袋 (11)P/Sギヤボックス
- (12)触媒 (13)マニュアルミッション (14)パワステポンプ
- (15)ダイナモ (16)セルモーター (17)スノーテックス
- (18)WAVE BOX (19)ラ・クール (20)バイザー
- (21)ショーワグローブ (22)ETC (23)ワイパー
- (24)タイヤ補修用品 (25)ブレーキパッド
- (26)GE 製自動車用バルブ(電球)(NEW)

## 6、「運営者からのお知らせ」の“お知らせ”から

「ZEN-bukyo モール」ログイン後の「運営者からのお知らせ」に以下の記事が掲載されています。ここから、各種商品の案内と注文様式をダウンロード出来ます。

- 1)「ZEN-bukyoTool モール」マニュアル改訂版(事業運営委員会作成)
- 2)デッドストック品掲載ガイドライン
- 3)「ZEN-bukyo モール」マニュアル(事業運営委員会作成)
- 4)GE 製バルブデータシート
- 5)PM システムでのマスター設定マニュアル
- 6)AdBlueR あっせん販売案内と注文様式
- 7)フラットワイパーブレード販売開始!!(価格表・適合車種表)
- 8)PB ブランド軽自動車用ブレーキパッド販売開始(適合表・価格表)
- 9)ZEN-ERIC ワイパーリフィール適合車種表
- 10)タイヤ用品・補修用品販売開始((株)プリーマタイヤサプライズ)
- 11)ワイパーリフィール・アソート 100 本 FAX 注文書(pdf 版)
- 12)ワイパーリフィール販売開始!!(価格一覧・互換表)
- 13)全部協からの補修用自動車ガラスあっせん販売
- 14)ETC 車載器【全部協会員特価】 早いものガチ！
- 15)間仕切りエコ・カーテン by (株)大成部品
- 16)キャンピング用品 by (株)コイズミ
- 17)シーズン到来?【SnowTex】by (株)コイズミ
- 18)約 4,000 点【リビルド製品】by OSS 司
- 19)YBP 商品一覧はこちら(PDF 全部協売価入り)
- 20)YBP 商品一覧はこちら(Excel 資料)
- 21)共同購買マニュアル「Let's get started!」vol.13  
(2013.11.27)
- 22)みんなの知恵袋！(OEM 車両編)→便利！！
- 23)e-分岐タップのチラシはこちら！

全部協議・活動日程につきましては、  
添付の PDF データ「07\_01\_h29kaigiyotei\_nenkan\_12.pdf」を  
ご覧下さい。

---

8 | メルマガ配信アドレス登録のお願い

---

このメルマガは、組合員、賛助会員、及び旧「全部協プライムニュース」の  
配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまに  
お送りしております。

組合員企業、賛助会員企業の皆さまで、配信のご希望がありましたら、全部  
協ホームページからメルマガの配信登録をお願い致します。

組合員 URL: [http://zenbukyo.or.jp/member/mail\\_form2.html](http://zenbukyo.or.jp/member/mail_form2.html)

賛助会員 URL: [http://zenbukyo.or.jp/s\\_member/mail\\_form2.html](http://zenbukyo.or.jp/s_member/mail_form2.html)

なお、この URL を開くためには、組合員ルームないし賛助会員ルームの  
ID とパスワードが必要です。ご不明の場合は、事務局までお問い合わせくだ  
さい。

また、組合員と賛助会員企業の関係先で配信希望がございましたら、事務局  
までお問い合わせください。ご相談の上配信の取り計らいをさせていただきます。

---

9 | 付録

---

1)「ZEN-bukyoTool モール」開設のご案内(チラシ)

[http://zenbukyo.or.jp/mailmagazine/201712/09\\_01\\_ZENbukyomoolchirashi.pdf](http://zenbukyo.or.jp/mailmagazine/201712/09_01_ZENbukyomoolchirashi.pdf)

2)「ZEN-bukyo モール」サイト案内 PDF

添付の PDF データ「09\_02\_ZENbukyomool\_siteguide.pdf」  
をご覧下さい。

3)「ZEN-bukyoTool モール」専用カタログ URL

<https://tool-power.meclib.jp/zen-bukyo/book/index.html>

4)「ZEN-bukyoTool モール」サイト案内 PDF

添付の PDF データ「09\_04\_ZENbukyotoolmool\_siteguide.pdf」

をご覧ください。

5)「ZEN-bukyoTool モール」利用の FAQ PDF

添付の PDF データ「09\_05\_ZENbukyotoolmool\_FAQ.pdf」

をご覧ください。

6)デッドストック部品運用ガイドライン

[http://zenbukyo.or.jp/mailmagazine/201712/09\\_06\\_dspguidelines.pdf](http://zenbukyo.or.jp/mailmagazine/201712/09_06_dspguidelines.pdf)

7)【ビジネスレポート】PDF

添付の PDF データ「09\_07\_businessreport.pdf」

をご覧ください。

8)リパーツダイレクトの広告

[http://zenbukyo.or.jp/mailmagazine/201712/09\\_08\\_bwrdr.pdf](http://zenbukyo.or.jp/mailmagazine/201712/09_08_bwrdr.pdf)

9)PB 商品の広告

[http://zenbukyo.or.jp/mailmagazine/201712/09\\_09\\_PBpr.pdf](http://zenbukyo.or.jp/mailmagazine/201712/09_09_PBpr.pdf)

10)その他の広告リンク

ショーワグローブ株式会社

<http://www.showaglove.co.jp/>

\*\*\*\*\*

メルマガ全部協プライムニュースへのお問い合わせ

\*\*\*\*\*

本メールについてのご意見、ご感想、お問い合わせ

全部協プライムニュース メールマガジン事務局(ジェイシーレゾナンス内)

〒104-0045 東京都中央区築地 3-3-2 NEWS 築地 9F

TEL:03-5565-1642 FAX:03-5565-6909

E-mail:primenews@jc-resonance.co.jp

---

Copyright(C) 全部協プライムニュース メールマガジン事務局